

いかがですか？ 私たちのモモのスイーツ

～町のおいしいモモで

桜の聖母短大の女子たちが考えた

『モモスイーツ発表会』～



国見町と連携協定を結んでいる桜の聖母短期大学は、モモのスイーツづくりに取り組みました。

短大生は、春から桃農家を訪ね、モモ生産の苦勞を聞き取りしたり、花摘みや摘果の作業を体験したりしてきました。モモの基礎的なことを理解した上で5つのグループに分かれて考案した作品は、モモの大福、プリン、タルト、サブレ、パイの5品。

7月31日は、40人の短大生がくにみ幼稚園を訪ね、

預かり保育の園児たちに試作品の発表会を開きました。

園児たちは、5つのスイーツごとに短大生の説明を聞き、それぞれに試食。その後、園児たち一人一人が、おいしかった作品に点数を入れました。園児たちの一番のお気に入りにはモモの大福「ももふく」でした。

これらのスイーツは、道の駅の開業に向けて、専門家の指導を受けながら、国見まちづくり株式会社で商品化を図ることとします。



桃農家と子どもたちへ

学生たちが、国見のモモ農家と試食する園児を思い浮かべ、試行錯誤しながら作ったスイーツです。学生たちは、試食する園児たちの素直な意見を今後の授業に役立てることとします。

桜の聖母短大 池田洋子 教授

桃のスイーツに期待

桜の聖母短大の学生たちが考えてくれたモモスイーツは、大きな可能性を持っています。今後は、短大、町、まちづくり会社そして専門家が連携して、商品化を図っていききたいと思います。

国見町長 太田久雄



# 池田町と国見町との友好交流協定締結式



協定を締結した岡崎和夫池田町長と太田久雄町長

## 岐阜県池田町と友好交流協定締結

### ～岐阜県池田町～

人口 24,672人  
(平成27年8月1日現在)  
面積 38.80平方キロメートル  
特産品 美濃いび茶など



かががたに 霞間ヶ溪

国の名勝天然記念物・全国さくら名所100選に選ばれたさくらの名所があります。

8月21日、国見町役場で、岐阜県池田町と友好交流協定を締結しました。

締結式には、池田町から岡崎和夫町長、田口貴弘総務部長、小川孝文企画課長、川村隆池田温泉副総支配人、国見町からは太田久雄町長、佐藤弘利副町長、菅野信朗総務課長、引地真まちづくり交流課長、菊地弘美企画情報課長、立会人として東海林一樹町議会議長が出席しました。

池田町とは東日本大震災からの復旧のため、国見町へ職員を派遣していただいたことをきっかけに、これまで相互に訪問するなど交流を続けてきました。平成

25年には災害時相互応援協定を締結し、協定を契機にお互いの特産品等の交流に発展してきたところです。

地域や生活文化も違う両町が今回、友好交流協定を締結し、「文化・観光・物産・人」など今まで以上に交流を進め、相互理解を深めていくことを確認しました。

協定締結後、両町長から「お互いの町の発展のため、道の駅での特産品の販売や民間の交流を含め、これまでに以上の交流を続けていきたいと思います」とあいさつがありました。